

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

柳町地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

○高齢化率の上昇について継続的な課題となっている中、実態の把握等に努めました。又、地域で行われている行事や集まりに積極的に参加をすることで、ケアプラザが気軽な相談機関であることを繰り返し伝えてきました。相談の少なかった地区からの連絡も増えてきているところです。

○地区社協や自治会等から介護保険の説明会、認知症サポーター養成講座等 研修の依頼もあり、地域に出向き要望に応じてきました。講座の開催後には、次に聞きたい要望もでており、継続した地域支援ができるよう努めています。

○小学校との交流が頻回にあり、地域の子供達とのつながりを深めることが出来ました。

○近隣の障害児者通所施設と協力して「ふれあい感謝祭」を実行することができました。エリア内にある高等学校からの参加等、多世代の交流が実現できた行事となりました。

(1)相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

○身近な相談窓口であることを意識し、遠方で柳町 CP へ来訪しにくい大川にあるレイディアント自治会やあけぼの会（老人会）との交流を深めながら、様々な集まりの際に出向き、ケアプラザの周知をしながら相談窓口であることを伝えていきました。

○近隣にあるコミュニティハウスと関係を強化しました。認知症サポーター養成講座の開催や地域に紹介できる活動の情報提供等に理解をいただき交流が進みました。等 認知症サポーター養成講座の開催については、広報紙からの情報であり、地域へ広報誌での周知活動について改めて大切さを感じました。

○もりのお茶の間の後方支援を継続して行っており、内部の役割等に寄り添い、一緒に動いています。

○地域の困難事例ケースではご本人と信頼関係を大切に、寄り添うという立場で関わり続けました。見守りを続ける中で行政と協力しながら支援を続けています。

(2) 各事業の連携

- 5職種の会議で基本的な情報交換や話し合いを続けており、特に大川のレイディアントシティ自治会へのアプローチを続け、良い関係が築けるように進めていきました。
- 瀬ヶ崎小学校とは認知症サポーター養成講座をきっかけにケアプラザを知りたいという子どもたちの希望に寄り添う形で5職種が連携しながら受け止めをしました。
- 依頼のあった町内・サロンへ出張講座を行いました。また、瀬ヶ崎小学校、ゆめ和柳町ほいくえん、柳町コミュニティハウス等、色々な世代を対象とした認知症サポーター養成講座の開催を協力して実施しました。
- 瀬戸町内会の健康麻雀（元気づくりステーション）や六浦東地区のお茶の間カフェ（認知症カフェ）には交代で関わりを続け、状況を共有しています

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 8月からは各事業の人員配置基準に沿って、必要な資格要件を満たした職員を配置することができました。
- 事業所内部の研修委員がAED研修、感染症対策研修、福祉用具に関する研修を企画実施しました。又、法人では階層別研修・人権研修を企画し、各職員はこちらにも参加をすることで自己研鑽に努めました。
- 公正・中立の確保を継続していくため、アンケートを実施しました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 地域で開催される行事等に積極的に参加しました。声をかけて頂ける機会も増えました。又、民生・児童委員との関係も大切にしていくことで、困難ケースやこれらが不安なケースの共有をすることができました。
- ケアプラザで開催する講演会や介護予防講座等の情報を地区社協の集まり等にも積極的に出向き、繋げてきました。

(5) 区行政との協働

- 地域住民から近隣に住む方について困っている・心配事があるとの相談があった際は、すみやかに訪問するなど対応を進めました。毎月の区との定例会において状況を報告し見守り・課題解決など共有しながら進めました。
- もりのお茶の間で開催している認知症カフェ（お茶の間カフェ）の後方支援として、地域支援チームとして区や区社協と交代でプログラムの協力を続けています。
- 地域支援チームでは区役所・区社協と一緒に街を歩くことで、同じ目線で防災を含めた様々な様子を確認し地域の課題を確認・共有することができました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 広報紙や法人HPを利用しケアプラザの周知を図りました。おしゃべりカフェ等の自主事業の際に参加者の話を聞き新規自主事業を検討・企画しました。
- ウクレレ講座、フラダンス、健美ダンスを自主事業で開催し自主グループ化しました。
- 主に男性を対象とした「金沢の歴史を学ぶ会」を横濱金澤シティガイド協会の協力を得て開催しました。
- おしゃべりカフェの催し物に地域の中学校吹奏楽部に出演していただいたところ、40～50歳代の方の参加があり、多世代交流の場となりました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 団体交流会や貸館利用申し込み時に空き時間、空いている部屋を随時お伝えし利用促進を図りました。又、土曜日や夜間という利用が少ない日に自主事業を企画しました。
- 団体登録者へ活動披露の場を案内し日程を調整しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 広報紙、HP等でボランティア活動の呼びかけを行ってきました。区社協との共催で横浜市大の学生を対象に「ボランティア講座」を開催し、ケアプラザの事業にボランティアとして参加してもらうことができました。
- 過去に小学生お菓子作りの参加者であった中学生にボランティアとしてお菓子作りに参加してもらい活躍してもらえる場を作りました。
- 貸館登録団体の方へ自主事業や感謝祭等でのボランティア活動への声掛けを行い、活動に繋げました。
- 金沢区社協との共催で「障がい児者ガイドボランティア講座」を開催し、地域に在住しているボランティアの発掘を行いました。
- ボランティア感謝会を開催し、いきいきポイントの説明や近隣の活動先を紹介しました。その後、活動に繋げることができました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域の活動に参加しケアプラザのPRをするとともに、5職種会議等で地域の情報を共有しました。
- 地域のイベント、活動報告をケアプラザ広報紙に掲載し、他地区の方にも活動を周知することができました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 地域の集まりに積極的に参加させていただき、生活支援体制整備事業についての取り組みの内容を周知できるよう努めました。
- 毎月一度行われている5職種会議に参加することにより、地域の情報をケアプラザ内で共有しました。
- コーディネーター連絡会等、区役所、区社協、他地域ケアプラザとの情報共有のために各種の会議には可能な限り参加しました。
- 生活支援体制整備事業をすすめていくうえで、生活支援コーディネーターに必要な研修に積極的に参加しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 地域で行われている行事や、活動などに積極的に参加することで、地域ごとの生活課題やニーズの把握に努めました。
- 地域活動交流・地域包括支援センターと連携し、住民主体で行っている地域活動、サークル団体等の把握に努めました。

(3) 連携・協議の場

- 地域で活動しているボランティアグループから活動の周知や拡大についての相談があり、協議体として検討を重ね地域での活動に向けて進めることができました。
- 地域で開催されているサロンに定期的に参加することにより、顔の見える関係を築くことができました。その結果、包括支援センターと連携し、ミニ講座を開催することができました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- コーディネーター連絡会、研修や会議等には積極的に参加し、区役所、区社協、他のケアプラザと情報を共有することができました。
- 近隣のケアプラザとは定期的開催される会議やボランティアネットワークの定例会に参加することにより地域の課題を共有し、より広域の地域課題の解決に取り組めるよう努力しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 毎月定例で、包括支援センター会議、5職種会議をそれぞれ実施することで情報の共有を行い、地域での支援体制について共通認識を持つよう努めました。
- 民生委員・児童委員連絡会やサロンなど地域の会合に参加するなかで地域ケアプラザや地域包括支援センターの役割について周知を図りました。
- 地域ケア会議について、個別ケース地域ケア会議を2回・包括レベル地域ケア会議を1回実施しました。行政、民生委員、ケアマネジャーと顔の見える関係づくりを行い、情報共有と新たな課題発掘へとつながることが出来ました。包括レベル地域ケア会議では、救急現場の現状について消防署の方にお話を伺い、それぞれの立場で協力できるこ

と、難しい事など民生委員・児童委員、ケアマネジャーたちと情報共有することができました。

- 六浦東地区の街歩きに支援チームの一員として参加することで、地域の状況や課題を把握・共有することができました。

②実態把握

- 毎月区の高齢支援担当との連絡会を開催することで、地域の状況や相談ケースについての情報交換・方向性の検討を行う事ができました。
- 民生委員・児童委員の連絡会に参加したり、六浦東地区の一人暮らし高齢者対象の配食サービスの手伝いをする事で、高齢者の状況を把握し、必要な支援に繋げてきました。またそのような中で相談を受けることも出てきました。
- 地域の方からの相談について、情報収集・訪問をすることで把握に努め、必要時に介入できるようにしてきました。
- ケアプラザより遠方にある大川地区 レイディアントの自治会等と集まることで現状の把握や住民の希望を伺い、2ヶ月に1度のサロンへの参加により地域ケアプラザ・地域包括支援センターの周知等を図ることができました。サロンに参加することで、相談エリアの地域の方のニーズの把握に努めました

③総合相談支援

- 高齢者にかかわる相談はもちろんのこと、子ども・障害を持っていると思われる方についても相談内容を受け止め、関係機関に繋ぐことを心がけました。
- 地域活動交流事業・生活支援体制整備事業と共に地域に出向くことで、地域の相談窓口としての周知を行った。出向いた先で相談を受けることもありました。
- 介入が困難で、なかなか支援につながらないケースについても、定期的に状況を確認することでフォローを行い、行政と情報共有し、方向性を確認しながら支援を行った。
- 地域の集まりに参加して相談を受けた際、相談窓口としての周知を行いました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 担当ケアマネジャーから判断力が弱ってきていると思われる高齢者の工事費用について相談があり、消費者センターに報告・相談を行いました。
- 六浦地域ケアプラザと共催で相続・遺言・成年後見講座に関する講座を開催しました。講座後個別相談会も実施し、2件の相談がありました。その後消費者被害についての講座を実施し、オレオレ詐欺など最近の手口について周知を図りました。
- 成年後見制度やあんしんセンターについて、必要な方に制度の説明や、関係機関との調整を行いました。
- 成年後見サポートネットに参加し、関係機関との関係づくりや情報共有を行いました。

②高齢者虐待への対応

- 地域の方からの虐待相談について、区と連携を取りながら担当ケアマネジャー等を交えてカンファレンスを行い、支援の方向性の確認を行いました。
- 介護者のつどいを毎月実施することで、介護者の負担軽減・心身のリフレッシュを図ることができました。
又、自ら相談しにくいと思われる男性介護者のつどいも開催。男性同士の悩みを語る場としてよい機会となりました。
- 六浦地域ケアプラザと共催で、弁護士に講師を依頼し、権利擁護についての講座を開催しました。

③認知症

- 認知症サポーター養成講座については、地域活動交流事業と共催で、今年度初めて瀬ヶ崎小学校4年生を対象に開催。その後も認知症について深く学びたいとのことで、DVDの視聴や質疑応答などで対応を行いました。
そのほか、柳町コミュニティハウスの職員向け、ゆめ和柳町保育園の園児（年長児）向け、六浦地区社協主催の福祉講座においても認知症サポーター養成講座を開催し地域での多世代にわたり、認知症に対する理解者を増やすことができました。
- 男性介護者のつどいの中で、介護マークについて案内し、周知を図りました。
- キャラバンメイト連絡会に参加し、他のエリアでの活動情報収集に努めました。
- はいかい高齢者SOSネットワーク連絡会に参加し、関係機関と顔の見える関係づくりを行いました。登録が必要と思われるケースについては情報提供を行い、登録を勧めました。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 包括主催の講座等や町内会、地域サロンの依頼を受けて地域包括支援センターや介護保険制度等の説明周知を行うことができました。また月2回の地域サロンに参加することで、地域の方が身近に個別に関わりやすい環境を整えました。
- 地域ケア会議を通して地域の民生児童委員や保健活動推進委員、ケアマネジャー等関係機関で顔を合わせる機会を作り交流することができました。

②医療・介護の連携推進支援

- 区、主任ケアマネジャー部会、医療機関、在宅医療相談室、ケアマネ倶楽部等連携して地域医療、介護医療連携研修に関わり、連携推進に努めました。
- 入退院、介護申請の向け医療機関と連携して利用者の利益になるよう努めました。
- 区内、隣市等の地域医療研修に参加して情報収集、研鑽に努めました。
- 居宅事業所を個別に訪問し、顔の見える関係の構築や提供を行いました。
- 協力医と連携して地域の方を対象とした医療講演会を開催しました。

③ケアマネジャー支援

- 地域のケアマネジャーが抱えている課題の多いケース等は、個別の課題の整理や解決に向けて支援をしました。必要に応じて同行訪問やサービス担当者会議に出席支援、情報提供を行いました。
- 区、在宅医療相談室、主任ケアマネジャー部会と協働で新任や現任、主任ケアマネジャーへスキルアップ研修や情報共有を実施しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ケアプラザ5職種協働で情報共有を図り、地域ケア会議（個別レベル2回/年、包括レベル1回/年）実施し、行政、消防、民生児童委員、居宅事業所等ネットワーク構築を行いました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 住みなれた地域でご本人が望む生活をイメージできるよう、わかりやすく個別性を尊重した介護予防支援計画書の作成に努めました。
- 委託先の居宅介護支援事業所に対し、スムーズな引き継ぎを行い、必要に応じて同行訪問し、介護予防ケアプラン等に関する指導・助言その他相談対応を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

○介護予防普及啓発事業

町内会や民生委員児童委員等の協力を得ながら、地域の実情に合わせ計画し、ケアプラザのみでなく地域へ出向き、講座を開催しました。

- ・ロコモ予防 計3回 参加者延べ43名
- ・口腔ケア講座 計2回 参加者延べ30名
- ・栄養講座 計2回 参加者延べ28名
- ・医療・歯科講演会 計5回 参加者延べ59名
- ・血流チェックと健康相談会（柳町ふれあい感謝祭） 参加者64名
- ・介護予防・健康相談（ちょこっと相談） 毎月1回 参加者延べ176名
- ・地域包括支援センターの役割・介護保険等についての講座
計2回 参加者延29名

○地域介護予防活動支援事業

*元気づくりステーション

自主化した「柳町 IN コグニ」「お元気づくりステーションむつうら」に対し、活動が継続できるよう、区と協働し後方支援を行いました。

「柳町 in コグニ」では、利用者増を目的として講師を招き、グループ紹介へつなげたり、進行アドバイスなどを随時行い、モチベーションを高められるよう支援しました。

「お元気づくりステーションむつうら」では、活性化をめざした結果、参加者が増え、活動回数が月2回から3回へ増となりました。

*地域活動支援

地域の老人会や活動グループの支援を目的とし、地域へ出向き、認知症や介護予防

などについての講話を行いました。

- ・お茶の間カフェ 計4回 参加者延べ70名
- ・おしゃべり茶屋えふしー 計5回 参加者延べ86名
- ・あけぼの会 参加者56名

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

建物の設備・維持管理等に関しては専門業者に委託し定期的な保守管理を実施した。

設備・維持管理（年1回）、定期清掃（年4回）、衛生管理（年2回）、消防設備等（年2回）

施設内清掃に関しては、専門業者に委託し清潔を維持してきた。

(2) 効率的な運営への取組について

法人で運営するもう1か所の地域ケアプラザと連携し、サービスの質の向上を図った。

施設内で職員一人一人がコストを意識しながら節電対応、印刷時の効率、不要紙の再利用（メモ用紙）など取り組んだ。

(3) 苦情受付体制について

施設内にご意見箱の設置をし、遠慮なく意見が出せる工夫をしている。設置場所については、利用する方が投函しやすい場所に設置（玄関近く・デイルーム内）した。特に意見等の投函はなかったが、苦情等があった場合は迅速に対応し、内容によって苦情解決第三者委員会へ報告し適切な意見をいただきながら解決に繋がられる体制をとっている。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

特別避難場所・津波避難施設として、要援護者の為の備蓄品等の管理を定期的におこなった。防災・避難訓練は地域の消防署と連携しながら年2回実施した。

また、地域で実施している津波避難高台を利用した避難訓練に参加した。

(5) 事故防止への取組について

ヒヤリハットの報告を徹底し、内容については会議にて全職員と共有し、事故防止のための検討を重ねた。

運転者の免許証等更新については、各自コピーを提出してもらい更新期日など確認している。また運転業務のみの職員に対しても健康診断を実施し、体調面からも安全な運行ができるよう気を付けている。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

地域ケアプラザ個人情報漏えいチェックシートを非常勤を含めた全職員に実施した。個人情報に関する書類等は鍵のかかる書庫に保管し、ファックス使用時は個人情報部分へのマスキングに加え、送信時に必ず複数の職員で誤送信が無いように努めた。

(7) 情報公開への取組について

法人のホームページを全体リニューアルし、新しい情報の発信を見やすく・検索しやすくした。

施設内の掲示物の整理整頓を行い、チラシも整理することで、探している人がわかりやすくなるよう心掛けた。

事業のチラシや地域での講座・研修会の案内は地域の学校や町内会館へ持参し配布を依頼することで幅広い周知につなげた。

(8) 人権啓発への取組について

法人全体として全職員を対象とした専門講師による研修を実施。やむを得ず参加できなかった職員に対しては、講師の了承のもと、録画したのを見てもらう形で追加研修を実施し全職員が参加できる工夫をした。

(9) 環境等への配慮及び取組について

施設内で出たゴミは分別。収集は専門業者に委託をした。施設内の植栽に関しては年2回、専門業者に依頼している。地域地元商店に花壇の植え替えをお願いし、玄関先の環境整備を行った。

施設周辺のゴミ拾いなど毎日実施した。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

包括支援センター 職員 3名（うち1名が管理者兼務）
 介護支援専門員 非常勤 1名

※地域包括支援センター運営事業（5）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）と同内容可。

《目標に対する成果等》

- 住みなれた地域でご本人が望む生活をイメージを尊重した介護予防支援計画書の作成に努め
- 委託先の居宅介護支援事業所に対し、スムーズな訪問し、介護予防ケアプラン等に関する指

別性
 じ同
 た。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 事業者の担当地域外を訪問する必要がある場合

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域活動交流担当や、生活支援コーディネーターとも情報共有し、自主事業やインフォーマルサービス、介護保険サービスなど、ご本人に合わせたサービス調整や提案を行い、継続支援に繋げた。
- 介護保険サービスのみでなく、互いに見守り支援ができることを目指し、地域住民との関係づくりを行った。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
156	153	158	156	157	154
10月	11月	12月	1月	2月	3月
158	154	155	154	153	151

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員		4名
内訳	常勤	3名(うち1名は管理者兼務)
	非常勤	1名

《目標に対する成果等》

- 課題整理総括表の活用に習熟し、ケアプラン作成の根拠を文字化できるようにする。
- 外部研修に積極的に参加し、ケアマネジメントスキルの向上を図ると共に、他事業所のケアマネジャーとの交流を持つ。
- スーパービジョン技術の向上を図り、事例検討に生かす事ができる。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 特定事業所加算Ⅲ取得事業所として、毎週の会議を実施し、ケースの共有、支援困難ケースへの対応などを検討している。
- ケアプラザ併設の居宅として、特に支援困難ケースについては積極的に対応するようにしている。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
138	137	139	142	144	146
10月	11月	12月	1月	2月	3月
141	145	142	142	136	138

● 通所介護・認知症対応型通所介護（デイサービスなし）

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 運動器機能向上
- 体操

デイサービスが指定管理業務外・委託範囲外の場合（未実施含む）は記載不要です。公表の際わかりやすいように、事業名の後に太字でデイサービスなし or 対象外と記載してください

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	692円
（要介護2）	816円
（要介護3）	947円
（要介護4）	1,076円
（要介護5）	1,205円

● 食費負担 700円

● 入浴 54円

● 個別機能訓練 60円

● サービス提供体制強化加算 20円

● 介護職員処遇改善加算 所定単位に5.9%を乗じた単位で算定

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
介護職員	9名
看護師	5名
運転手	5名

《目標に対する成果等》

- 利用者が充実した一日を過ごして頂けるよう、質の高いサービスを心がける。
- 利用者各人の趣味や特技を生かし、楽しい一日を過ごして頂けるようサポートする。
- 自転車こぎや、平行棒、ボールなどを活用して運動機能の向上を図る。
昼食献立はイベント食として（お楽しみランチ）（郷土料理）を実施し、食事を楽しんで頂く。
- 内部・外部研修を通して、職員のスキルアップを図る。
（介護技術・感染症・認知症の研修）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 定期的（月に3日程度）に交流デッキの花壇を活用して、保育園児と一緒に花の苗を植えて保育園児との交流を図る。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
552	564	568	623	603	572
10月	11月	12月	1月	2月	3月
618	564	507	538	499	522

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 運動器機能向上
- 体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 1,766円
 - （要支援2） 3,621円
- 食費負担 700円
- 運動器機能向上加算 242円
- サービス提供体制強化加算
 - （要支援1） 78円
 - （要支援2） 155円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位5.9%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

管理者 1名
生活相談員 3名
介護職員 9名
看護師 5名
運転手 5名

《目標》

- 利用者が充実した一日を過ごして頂けるよう、質の高いサービスを心がける。
- 利用者各人の趣味や特技を生かし、楽しい一日を過ごして頂けるようサポートする。
- 自転車こぎや、平行棒、ボールなどを活用して運動機能の向上を図る。
昼食献立はイベント食として（お楽しみランチ）（郷土料理）を実施し、食事を楽しんで頂く。
- 内部・外部研修を通して、職員のスキルアップを図る。
（介護技術・感染症・認知症の研修）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 定期的（月に3日程度）に交流デッキの花壇を活用して、保育園児と一緒に花の苗を植えて保育園児との交流を図る。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140	151	144	143	154	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
147	142	149	150	139	161

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 体操
- レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 1. 072円
 - （要介護2） 1. 188円
 - （要介護3） 1. 305円
 - （要介護4） 1. 422円
 - （要介護5） 1. 539円
- 食費負担 700円
- 入浴 55円
- サービス提供体制強化加算 20円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位に10.4%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤）
- 生活相談員 3名（常勤2、非常勤1）
- 介護職員 8名（常勤兼務2、非常勤6）
- 看護師 5名（非常勤5）
- 運転手 5名（非常勤5）

《目標》

- 各個人を尊重し、気持ちに寄り添ったきめの細やかな対応をしていく。
- 身体を動かす事で脳の活性化に繋げ、長く在宅で過ごして頂けるよう支援する。
- 会議にて利用者の細かい情報を共有し、常に適切なケアに努める。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 季節を感じられる、屋外での歩行訓練やおやつレク、園芸活動を行う。
- 個人の趣味嗜好を活かした手作業を行い、残存機能を維持できるよう支援する。
- 年に2回の運営推進会議にて、地域の方や利用者のご家族と意見や情報の交換また、施設や活動見学も行う。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】					
4月	5月	6月	7月	8月	9月
230	231	222	247	224	221
10月	11月	12月	1月	2月	3月
206	208	177	171	158	157

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	①おもな対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
会話カフェ	高齢者	56476	地活	37376	19100	0	0	41476	15000
	363人		包括	0					
	100円		介護	0					
			生活	0					
あかちゃんといっしょ	乳幼児と養育者	28560	地活	26460	2100	0	25272	288	3000
	171人		包括	0					
	無料～200円		介護	0					
			生活	0					
食事会ほっとすぺーす	高齢者	253890	地活	73890	180000	0	0	181620	72270
	414人		包括	0					
	600円		介護	0					
			生活	0					
フラワーアレンジメント	高齢者	186110	地活	15310	170800	0	0	186110	0
	150人		包括	0					
	1000円～2000円		介護	0					
			生活	0					
おひさま広場	障がい児者	60698	地活	54498	6200	0	0	9290	51408
	60人		包括	0					
	200円		介護	0					
			生活	0					
ほっとランチ	地域の方	24721	地活	7771	16950	0	0	24721	0
	114人		包括	0					
	300円		介護	0					
			生活	0					
団体交流会	登録団体の方	4743	地活	4743	0	0	0	4743	0
	36人		包括	0					
	無料		介護	0					
			生活	0					
てくてくかなざわ	地域の方	9460	地活	5560	3900	0	7800	216	1444
	15人		包括	0					
	300円		介護	0					
			生活	0					
木エクラフト	子ども	6864	地活	6864	0	0	0	864	6000
	29人		包括	0					
	無料		介護	0					
			生活	0					
レゴパーク	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	18人		包括	0					
	無料		介護	0					
			生活	0					
輪飾り作り	地域の方	18000	地活	1500	16500	0	0	18000	0
	11人		包括	0					
	1500円		介護	0					
			生活	0					
小学生お菓子作り	小学生	14363	地活	8363	6000	0	0	14363	0
	31人		包括	0					
	300円		介護	0					
			生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
会話カフェ	高齢者の居場所作りと見守りを目的とした事前予約なしのお茶のみサロン。高齢者だけでなく、子育て中の親子等も立ち寄って様々な方と交流できる場を心掛けた。 毎月15日13時～15時に開催。 ケアプラザの事業案内、ちょこっと情報等や、参加者同士が会話ができるゲーム大会等を設定した。	毎月15日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あかちゃんといっしょ	1歳前後の子どもと養育者を対象にした子育て講座を開催した。見守りを偶数月は六浦地区、奇数月は六浦東地区の保健活動推進員に依頼した。 10時から11時にミニ講座、その後偶数月はどんぐりころちゃんの読み聞かせ、14時までフリースペースとして多目的ホールを開放し、母親同士の繋がり作りの場を設定した。	毎月第3金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食事会ほっとすぺーす	概ね65歳以上の高齢者の居場所作りと見守り、安心安全な食材を使用した食事会をワーカーズ・コレクティブ・コンパスと開催した。 食事の後に約30分間の催し物と地域交流からのお知らせ、包括支援センターからの情報提供等をした。	毎月第1木曜日 計12回 5月は週をずらして開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワーアレンジメント	地域の高齢者を対象に心身機能の回復と花と触れ合うことでのリラクゼーション効果、またケアプラザが地域との接点、交流の場になることを目的とした。 参加者にも準備、片付けに携わっていただくために、2グループに分け月替わりの当番制を設定した。	毎月第1火曜日 計12回 1月は日程を変更して開催した

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おひさま広場	家庭と学校、施設、作業所以外に地域での活動の機会が少ない障がいのある方を対象に社会参加の機会を提供した。2か月おきに3B体操、工作の講師を依頼し活動後はおやつを皆で食べた。	毎月第2火曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとランチ	高齢者に限らず地域の様々な世代の方にもケアプラザに足を運んでいただくための食事会を開催した。ケアプラザでの開催時はケアプラザ登録団体に食事作り、配膳等をボランティアを依頼した。柳町町内会からの依頼で蕎麦打ち団体「いけ麺クラブ」の協力を得て出張蕎麦の会を開催した。8月はカレーパーティ 3月はお稲荷と豚汁	8月、10月、3月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体交流会	柳町地域ケアプラザ利用登録団体の交流、懇談の場として開催。各団体2名の参加を依頼し、貸館の清掃、貸館マニュアルの説明を行った。	6月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てくてくかなざわ	地域の方を対象に（主に高齢者）手軽に始められるウォーキング講座を開催した。横濱金澤シティガイド協会に講師を依頼し、参加者間と交流する機会を設定した。解散後は希望者で昼食を取り親睦を深めた。6月はシーサイドライン周辺の見学。 3月は貝山緑地の見学。 事業開催後のおしゃべりカフェで事業時のスライド上映を行った。	6月、3月 計2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
-----	--------	---------

平成30年度 自主事業報告書

木工クラフト	講師、ボランティアを地域の方に依頼し、異世代交流と小学生、及び幼児の地域活動の場づくりとして開催した。木工と竹細工の2種類から好きなものを選び制作し、持ち帰ってもらった。	7、8月 計2回
--------	---	-------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レゴパーク	小学生を対象として家庭とは違う広い場所でレゴブロックを使って遊んでもらう。乳幼児も保護者の見守りがあれば参加可能とした。	休館日を除く夏休み期間毎週月曜日 ほっとランチ、ケムケム座公演、子育てイベント時に開催 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
輪飾り作り	お正月の輪飾り作りを体験しながら地域住民同士の交流をはかっていただいた。	12月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生お菓子作り	小学生対象のお菓子作り体験講座。 父の日、クリスマス、バレンタインに簡単なお菓子作りを通して参加児童同士の交流とケアプラザへ来るきっかけ作りのために開催。 6月は「父の日クッキー」作り 12月は「カップケーキ」作り 2月は「ブラウニー」作り 焼成後の冷ましている間にその場で食べるおやつをみんなで作り食べ、持ち帰りお菓子を袋詰めを行った。	6月、12月、2月 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

平成30年度 自主事業報告書

ボランティア感謝会	日頃ケアプラザでボランティア活動をしてくださっている方に対し、感謝の気持ちを込めて感謝会を開催した。自己紹介、昼食（カレーライス）、ケアプラザのボランティアに関すること。いきいきポイントの説明、情報交換を行いさらに活動が広げられるようにした。	3月 計1回
-----------	---	-----------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てフリースペース	乳幼児とその保護者を対象としたフリースペースとして開催する。情報交換、交流の場として開催した。	毎月第4金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケムケム座公演	過去にケアプラザの子育て支援事業に参加していた乳幼児とその養育者に再びケアプラザへ遊びに来てもらうきっかけとして開催した。 年2回、登録団体「ケムケム座」に公演を依頼。 7月「あいしてくれて ありがとう」 12月「たまごにいちゃん」	7月、12月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもイベント	過去にケアプラザ事業に参加していた乳幼児とその養育者に再びケアプラザへ遊びに来てもらうきっかけとして六浦地区社協「ハイハイくらぶ」と共催した。 ゴスペル団体「マザーズビーアンビシャス」さんに催し物依頼した。	3月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
初めてのウクレ	参加者間の交流、楽器を演奏することの楽しさ、ケアプラザとその周辺の町内会、施設等でも発表の場が提供できるように昨年度から引き続き開催した。	毎月第2、4土曜日

平成30年度 自主事業報告書

レ講座	9月末で講座は終了し、10月のおしゃべりカフェで演奏披露をしていただいた。	ト計 11回
-----	---------------------------------------	--------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラダンス講座	地域でいつまでも健康で元気に過ごせるよう、体と頭を活発に動かすフラダンス講座を開催した。 講座は4月のみ自主事業で、5月からは自主グループ化していただいた。	4月の毎週金曜日 19:00～20:30 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健美ダンス	地域でいつまでも健康で元気に過ごせるよう、優雅な音楽に合わせて美しい姿勢で踊るダンスの講座を企画した。 講座は6月、7月のみ自主事業で、参加者より継続希望があり自主グループ化した。	6月、7月第1、2、4火曜日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢区の歴史を学ぶ会	主に男性を対象とした歴史を学ぶ会。横濱金澤シティガイド協会の方を講師依頼し、参加者とお茶を飲みながら話をする。	11月、1月、3月 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
区内合同サマーフレンド	夏休み期間中に区内9ケアプラザ合同で障害がある小・中学生を対象に余暇支援プログラム。外出プログラムとして山下公園方面、泥亀ケアプラザでラーメン作りと夏祭りを開催した。	8月計3回

平成30年度 自主事業報告書

--	--	--

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜市大学生対象ボランティア実践講座	横浜市大の学生を対象としたボランティア養成講座。ボランティアへの心構え、先輩ボランティアの話、ケアプラザの説明を行った。	4月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小物作りの会	干支の小物作りを通して参加者間とコミュニケーションを図る場として開催した。	1月、2月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

かいわ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数
-----	-------	---------

平成30年度 自主事業報告書

--	--	--

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度「柳町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,272,613		17,272,613	17,457,004	△ 184,391	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0	0	0	
自主事業収入			0	522,950	△ 522,950	この列は入力しない
雑入	450,000		450,000	48,006	401,994	
印刷代	0		0	8,090	△ 8,090	
自動販売機手数料			0	39,876	△ 39,876	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	450,000		450,000	40	449,960	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,722,613	0	17,722,613	18,027,960	△ 305,347	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,327,000		11,327,000	11,837,228	△ 510,228	
本俸	8,000,000		8,000,000	7,959,874	40,126	
社会保険料	1,000,000		1,000,000	911,888	88,112	
手当計	2,027,000		2,027,000	2,704,487	△ 677,487	
健康診断費	27,000		27,000	26,877	123	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,000	0	ハマボんじ
退職給付引当金繰入額	0		0	89,040	△ 89,040	
その他	267,000		267,000	139,062	127,938	
事務費	996,800		996,800	982,544	14,256	
旅費	25,000		25,000	5,406	19,594	
消耗品費	140,000		140,000	46,724	93,276	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	30,695	19,305	
通信費	350,000		350,000	342,699	7,301	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	374,580	△ 374,580	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	41,387	8,613	
職員等研修費	30,000		30,000	3,695	26,305	
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	150,000		150,000	24,715	125,285	
手数料	9,000		9,000	14,891	△ 5,891	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	191,800		191,800	97,752	94,048	
事業費	1,055,000		1,055,000	847,340	195,629	
運営協議会経費	42,000		42,000	29,969	12,031	予算・指定額
指定管理料充当 事業	1,013,000		1,013,000	817,371	195,629	
管理費	3,443,813		3,443,813	3,409,173	2,189,116	
建築物・建築設備点検	65,829		65,829	0	65,829	予算・指定額
光熱水費	1,250,000		1,250,000	1,332,858	△ 82,858	
電気料金				0	0	
ガス料金				0	0	この列は入力しない
水道料金				0	0	
清掃費	700,000		700,000	0	700,000	
修繕費	474,000		474,000	4,697	469,303	予算・指定額
機械整備費	56,000		56,000	0	56,000	
設備保全費	870,000		870,000	0	870,000	
空調衛生設備保守	510,000		510,000	0	510,000	
消防設備保守	92,000		92,000	0	92,000	
電気設備保守	63,000		63,000	0	63,000	
害虫駆除清掃保守	40,000		40,000	0	40,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	165,000		165,000	0	165,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	27,984		27,984	0	27,984	
公租公課	900,000	0	900,000	946,978	△ 46,978	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	900,000		900,000	946,978	△ 46,978	
印紙税				0	0	この列は入力しない
その他()				0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分				0	0	この列は入力しない
当該施設分				0	0	この列は入力しない
二一対対応費				0	0	この列は入力しない
支出合計	17,722,613	0	14,278,800	18,023,263	1,841,795	
差引	0	0	3,443,813	4,697	△ 2,147,142	

自主事業費収入	1,013,000		1,013,000	0	1,013,000	
自主事業費支出	1,013,000		1,013,000	0	1,013,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市柳町地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	22,079,539	579,263	横浜市より
指定管理料(介護予防)	80,079	67,921	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,107,390	681,610	横浜市より
利用料金収入		0	
指定管理料充当事業(包括)	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0	0	
自主事業収入	18,200	△ 18,200	
雑入	36,000	△ 21,000	
印刷代	0	0	
自動販売機手数料	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	
その他(指定管理充当)	36,000	△ 21,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	0	0	
収入合計	27,321,208	1,289,594	

支出の部

科目	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	0	24,244,316	
本俸		16,731,200	
社会保険料		3,580,000	
手当計		3,188,116	
健康診断費		47,000	
勤労者福祉共済掛金		24,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額		0	
その他		674,000	
事務費	0	1,911,000	
旅費		70,000	
消耗品費		140,000	
会議購い費		20,000	
印刷製本費		100,000	
通信費		240,000	
使用料及び賃借料	0	0	
横浜市への支払分		0	
その他		0	
備品購入費		0	
図書購入費		0	
施設賠償責任保険		230,000	
職員等研修費		60,000	
振込手数料		11,000	
リース料		150,000	
手数料		20,000	
地域協力費		30,000	
その他		840,000	
事業費	0	1,463,000	
協力医		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)		685,000	
指定管理料充当自主事業(介護予防)		148,000	
指定管理料充当自主事業(生活支援)		0	予算:指定額
管理費	0	992,486	
建築物・建築設備点検		17,486	予算:指定額
光熱水費		400,000	
電気料金		0	
ガス料金		0	
水道料金		0	
清掃費		191,000	
修繕費		126,000	予算:指定額
機械整備費		15,000	
設備保全費	0	233,000	
空調衛生設備保守		136,000	
消防設備保守		25,000	
電気設備保守		17,000	
害虫駆除清掃保守		11,000	
駐車場設備保全費		0	
その他保全費		44,000	
共益費		0	
その他		10,000	
公租公課	0	0	
事業所税		0	
消費税		0	
印紙税		0	
その他()		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	
本部分		0	
当該施設分		0	
二一ス対応費		0	
支出合計	0	28,610,802	
差引	27,321,208	△ 27,321,208	

自主事業費収入			
自主事業費支出			
自主事業収支	0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 柳町地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3320	3226	94	23290	22603	687
	その他	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
	収入合計(A)	3320	3226	94	23290	22603	687
支出	人件費	2268	2268	0	21750	21802	-52
	事務費	241	143	98	805	623	182
	事業費	1	1	0	0	0	0
	管理費	50	98	-48	150	165	-15
	その他	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	
	支出合計(B)	2560	2510	50	22705	22590	115
	収支 (A) - (B)	760	716	44	585	13	572

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。